

令和8年度 山形県青年の家主催事業「防災×若者フォーラム 2026」

1 目的

東日本大震災後も、熊本や北海道、能登半島地震が発生している。昨年はカムチャッカ半島での地震で津波を観測しており国外からの影響も受けている。また、台風の大型化や乾燥、線状降水帯等の影響で、自然災害の激甚化が進んでいる。山形県も例外ではなく、大きな山火事や水害が起きている。日本全国において災害の発生が懸念される災害大国日本において、次世代を担う若者の防災意識と社会参画意識の育成が急務である。地域社会の未来の担い手である青少年に、対話と実践を通し、「助けられる」から「助ける（共助）」への意識の転換を図る。

2 主催 山形県青年の家

3 対象 県内の中高生、大学生、ボランティアサークル指導者、福祉関係者、地域防災関係者など 定員50名程度（先着順）

4 会場 山形県青年の家（天童市小路一丁目7-8）

5 期日 令和8年9月13日（日）

6 講師 元宮城県石巻西高等学校校長 防災士 齋藤幸男 氏

7 内容・日程

8:40～ 9:00 受付開始（ロビー）

9:00～ 9:10 オープニング

9:10～14:30 ワークショップ「～災間を生きる君たちへ～災害は忘れる前にやってくる～」

（12:00～13:00 昼食休憩）

14:30～15:30 「あきらめない心～希望は絶望のど真ん中に生まれる～」

15:30～16:00 若者からのメッセージ

「災間を生きる者として～命と向き合い、いのちをつなぐ～」

16:00～16:15 振り返り

16:15～16:30 クロージング

補足 高校の教育課程で地理総合が必修修科目になったことを受けて、各学校においてさまざまな取り組みがすすめられています。今回のワークショップはこのような背景をふまえて実践するもので、学校防災や各教科の授業にも生かせるように工夫されています。

8 参加費 520円（昼食代420円、保険料100円）

9 持ち物 筆記用具、内履き、スマホやタブレット端末等、イヤホン

※ 青年の家のwi-fiを利用し、動画視聴の場面があります。

10 申込 チラシ及び、下記のURL、QRコードから申し込むか、または、別紙申込書に記入（入力）のうえ、FAXまたはメールで申し込んでください。〔締切 8/28（金）〕

11 その他

（1）当日撮影する写真等は、HPに掲載したり記録用資料として活用させていただいたりすることがあります。承諾できない場合はお申し出ください。

（2）9月4日（金）午後5時以降のキャンセルは、昼食代・保険料を実費で負担していただきます。

（3）必要な方には、活動証明書を発行します。

↓申し込み URL 及び QR コード

<https://forms.gle/FYGHRenWAASLhUHx9>



〔連絡先〕 山形県青年の家

担当：研修課長・主任社会教育主事

吉田 幸宏

TEL：023-654-4545

FAX：023-652-2007

E-mail：yoshidayuk@pref.yamagata.jp